

日羽協試験方法	臭気試験方法（標準状態）	JDFA-TM005 2018/12
---------	--------------	-----------------------

序文

羽毛の臭気を標準状態で官能評価する試験方法を定める。

引用資料：

JIS L 1903 羽毛試験方法

1. 装置

(1) 試料調整容器

2. 試料の準備

試験に用いる羽毛は、日羽協試験方法（JDFA-TM001 試験のためのサンプリング方法）によって採取し、均一に混合する。試料を標準状態の試験室で、空気が通過しやすく羽毛が飛散しないような容器に収納し、恒量になるまで放置する。

3. 試験試料の採取

2. で準備された試料から、約 35 g の試験試料 2 個を上層、中層、下層の各部分からランダムに採取する。

4. 試験手順

- (1) 1 試験試料を試料調整容器に入れ、標準状態に調整した後、蓋を開けてにおいを嗅ぐ。
- (2) 1 試験試料について 5 人の検査員で臭気を嗅ぎ、3 人以上が悪臭を感じた場合が、その試験試料を不合格と判定する。
なお、悪臭については、羽毛の強い臭い、薬品臭、カビ臭等の不快臭とする。

5. 試験結果

試験結果には合格又は不合格で表示する。

2 試験試料の少なくとも 1 個が不合格と判定された場合は、不合格と表示する。

以上（2018/Dec/12）